会　議　録

会議の名称	令和４年度 第１回那珂川市地方創生推進委員会		
開催日時	令和４年７月21日（木） 19：00　～　20：15	開催場所	市役所2F 第1・2・3会議室
出 席 者	1．委員 包清委員（九州大学教授）、児玉委員（西日本旅客鉄道㈱福岡支社総務企画課長）、池田委員（西日本鉄道㈱まちづくり・交通・観光推進部課長）、朝廣委員（九州大学准教授）、園田委員（㈱キャリア研究所代表取締役）、佐伯委員（農業の担い手）、千住委員（市商工会副会長）、石橋委員（福岡広域森林組合福岡南支店長）、深町委員（公募委員）、添田委員（公募委員） ※欠席者　渡邊委員（㈱西日本シティ銀行那珂川支店長） 上野委員（西日本新聞社筑紫支局長） 2．執行機関（事務局） 武末市長、長田行政経営課長、森山企画担当係長、南主任主事、鈴江主事 総合戦略検討会議７名 3．オブザーバー 岡企画主幹（福岡県企画・地域振興部 市町村振興局 政策支援課） 4．その他 傍聴者　０名		
配布資料	・資料１　　那珂川市地方創生推進委員会　委員名簿 ・資料２　　第２期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シート ・資料３　　地域再生計画 ・当日配布　企業版ふるさと納税 ・当日配布　第２期総合戦略　概要版		
公開区分	開示　・　一部開示　・　非開示 （理由：情報公開条例第９条第１項第　　号に該当）		

１．市長あいさつ

本日は、多忙の中、夜間にお集まりいただき、心より感謝申し上げる。

まず、新型コロナウイルス感染症の感染状況について、７月19日（火）が約3,900名、７月20（水）が約9,100名、本日が１万人を超えたため、皆様におかれましても感染予防をお願いする。

本委員会では、第２期那珂川市総合戦略における昨年度の取組状況及び企業版ふるさと納税に関する報告を事務局より行います。今後につきましても、本市の地方創生の実現及びさらなるまちづくりの発展に取り組んでいく。

また、大東建託㈱が実施している2022年度の街の住みここちランキングが発表され、昨年度７位から順位を下げ、県内で10位。詳細は、生活の利便性20位、行政サービス19位、交通

の利便性 26 位と厳しい評価となった。今後は、385 号の 4 車線化の早期実現、総合運動公園の整備、土地区画整理事業などハード事業だけでなく、ソフト事業も実施し、このランキングを上げていきたい。

２．委員長あいさつ

まずは、新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりである。

本委員会においても、街の住みここちランキングを上げるため、地方創生の観点からいろいろな手法を検討したい。また、昨年度の取組状況等について、事務局より報告を受け、委員の皆様から意見をいただきたい。

３．副委員長選出

事務局

川上副委員長の辞職に伴い、副委員長の選出を行う。副委員長に立候補される方はいるか。

委員一同

立候補なし。

事務局

立候補なしのため、前副委員長の後任である渡邊氏を推薦するが、意見あるか。

委員一同

意見なし。

事務局

渡邊氏を副委員長に選出する。

委員の交代もあるため、事務局より順次、自己紹介をお願いする。

～　事務局⇒委員⇒県の順番で自己紹介を行う　～

事務局

以降の進行については、委員長にお願いする。

～　議長（包清委員長）より進行　～

４．報告

（１）第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生一人口ビジョン・総合戦略　効果検証について

議長

資料 2 について、事務局より説明をお願いする。

事務局

資料 2 第 2 期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン・総合戦略効果検証シートの取組状況を説明。

議長

事務局の説明を受け、KPI の達成状況、取組状況について、助言や質問等をお願いする。

委員

施策 3-1 の KPI「待機児童数」で見直しと評価した理由は。

事務局

令和 3 年 4 月 1 日時点で目標 0 人に対し 4 人のため、見直しと評価。

議長

待機児童の解消は、今後も取り組む必要あり。待機児童をマイナスにすることは難しく、課題の認識とも考える。

その他に意見あるか。

委員

施策 1-2 における「人・農地プラン」とは何か。既に公表されているのか。

事務局

本市では、行政区ごとに作成し、7 行政区にて作成済。作成した行政区における将来にわたって農地のあり方を担い手と協議し、将来的に農地を集積するなどを明確化し、市町村が公表するものが「人・農地プラン」。残りの行政区においては、担い手が不在のため、未作成。

委員

地球温暖化や災害から、農地の分散化や集積化は良い手法と考える。市外からの新規就農者の獲得は難しく、既存の農業従事者への支援となる。山手の農地を希望する方に対し、農業が難しい理由を教えていただきたい。

議長

課題は農地が少ないのか、農地はあるが制約があるのか。

事務局

市外からの新規就農について、安定して農業をすることは難しい。農地を希望する人と農地を手放そうとする人は山間部を売りたいと希望が多く、農地を希望する人とマッチングしない。

また、果樹については、安徳でみかん栽培をしているが、鳥獣被害もあると聞く。

認定新規就農者は、新規就農者が計画を作成し市が認定後、認定新規就農者となり県より補助を受けられるが、条件が厳しく、安定した収入があるかなどの制約がある。地元出身であれば、土地や農具が揃っているが、市外の人が認定新規就農者になるのは難しい。

議長

その他に意見あるか。

委員

施策 1-3 の KPI「森林組合出荷量」の実績は、2,640㎥。コロナ禍で令和 2 年度よりは減少したが、重機の故障などにより現場が数ヶ月停止したことが理由である。今年度は、木材価格が高騰している状況だが、出荷量の増加に向けて取り組んでいきたい。

委員

施策 1-3 の具体的事業「林業サイクルの確立」の取組内容に「森林を適切に管理し良質な木材を生産するための土壌を整備している。」とあるが、具体的な内容は。

事務局

資料の記載が分かりにくく、申し訳ない。県の森林環境に関する情報を活用し、荒廃森林整備事業に取り組むことで、森林を適正管理する人が増加し、森林経営や管理する機会を増やしていきたいという意識の醸成や向上を図る意味を含め、資料に記載。

委員

施策 2-3 について、紹介できる空き家が少ないと報告されたが、西畑区や別所区など南畑地域以外でも掘り起こしするなどの見直しをしてはどうか。

事務局

昨年度の委員会でも説明したが、南畑地域に関しては、中ノ島公園にある移住交流促進センターSUMITSUKE と連携して物件の掘り起こしや移住相談に関する対応を行っている。市内全域に関しては、市内の不動産事業者から情報提供を受けるなどの連携を図っている。

委員

市内の空き家情報は把握されているか。把握しておくことで、活用することも可能では。

事務局

平成 27 年度に調査を実施。今年度、都市計画基礎調査の調査項目にあり、調査予定。

委員

施策 2-1 の「休日滞在人口の増加」における実績値などの積算方法は。

事務局

国の地域経済分析システム「RESAS」を活用し、積算。

委員

RESAS とは。

事務局

各市町村における観光の滞在時間などの分析、産業構造、地域内での経済循環が把握できる国のシステムのひとつである。

委員

施策 1-1 の「創業者数」について、どのような人が創業されたか。

事務局

創業塾を受講された人も含まれているが、介護・物流などと分野が幅広い。創業塾を受講するメリットは、経理・財政・販路拡大などの支援を受けられる。

委員

創業塾を受講された人での創業者数は。

事務局

令和 3 年度は 4 名。

委員

その他の 30 名は創業塾の受講者ではないということか。

委員

従来の創業塾は、セミナー方式にて実施していたが、講義内容が不足などの課題があった。新型コロナウイルス感染症や課題から、個別指導方式に変更した。

事務局

先程の説明を訂正する。令和 2 年度から令和 3 年度の創業塾の受講者は 5 名、2 カ年の累計が 12 名。また、令和 2 年度から令和 3 年度の創業者数は 16 名、2 カ年の累計が 34 名。

委員

了解。

議長

その他に意見あるか。

委員一同

意見なし。

議長

意見なしであるため、昨年度の取組状況について、本委員会にて確認したこととする。

（２）企業版ふるさと納税について

議長

資料３について、事務局より説明をお願いする。

事務局

資料３ 地域再生計画、当日配布 企業版ふるさと納税を説明。

委員

本事業における相談窓口は。

事務局

相談があれば、行政経営課（事務局）へお願いする。

委員

寄附受付はいつからか。

事務局

資料３ 地域再生計画を国より認定を受けたばかりであり、寄附受付の体制を整備していく。

議長

市ホームページへの公開はいつ頃を予定か。

事務局

まずは、寄附受付の体制整備を行うが、次年度まで時間をかけるつもりはない。可能な限り早く寄附受付の体制を整備し、市外の事業者へ事業周知を行う予定。

委員

資料３ 地域再生計画について、再度説明をお願いする。

事務局

地域再生計画とは、企業版ふるさと納税を実施するにあたり、第２期那珂川市まち・ひと・しごと創生一人口ビジョン・総合戦略の内容を取りまとめた計画書になる。事業実施にあたっては、国より本計画の認定を受ける必要があり、７月８日（金）に認定を受けたところである。

議長

国より認定を受けたところでもあり、今後、様々な事業展開を期待する。

その他に意見あるか。

委員一同

意見なし。

５．その他

議長

事務局より意見あるか。

事務局

意見なし。

議長

意見なし及び全ての議事が終了したため、司会を事務局へお返しする。

事務局

以上で、第１回那珂川市地方創生推進委員会を終了する。

終了